

2016年新春を迎えて

新年明けましておめでとございます。

市民の皆様におかれましては新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素は市政各般にご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、戦後70年の節目の年にあたり、平和の尊さを後世へ語り継ぎ、平和と繁栄に力を尽くす必要があることを改めて決意したところであります。国内におきましては、国産ジェット旅客機の初飛行や日本人2名がノーベル生理学・医学賞、物理学賞と2年連続で日本人が受賞を果たし、長年の研究の成果が結実した年として喜びに包まれましたが、本年も五輪開催年として躍動することが期待されます。

本市におきましては、立江中学校と坂野中学校の両校が統合し、防災拠点としての機能も備えた小松島南中学校の4月開校に向け、着実に建設を進めています。また、認定こども園の整備や幼稚園・保育所施設の再編方針等を示した「小松島市の就学前教育・保育のあり方について」の策定を行い、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上に取り組みとともに、関係機関、各種団体との連携をはかりながら、健康の保持増進や介護予防等の社会保障の充実も推進しています。

本市の財政状況については、市民の皆様のご協力を得ながら、新たに策定した「小松島市行政改革プラン2015」による不断の改革を進めています。しかしながら、市税の減収や地方交付税の確保が不透明といった要因により、自治体を取り巻く環境は厳しさを増しており、今後財政健全化に向け、職員一体となり取り組んでまいりますので、市民の皆様にはご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

小松島市は本年、市制施行65周年を迎えます。これまで積み重ねてきた歴史を大切にしながら、持続的な発展を遂げるため、市民の皆様との協働により、すべての人が安心して生活できる地域づくりを進め、活力と魅力あふれるまちの実現を目指してまいります。

結びにあたり、本年が皆様にとりまして良き年となりますことを心より祈念し、簡単ではございますが、新年のご挨拶といたします。

第62回徳島駅伝 小松島市選手団結団式 チームの結束力を高める

小松島市役所で12月1日、第62回徳島駅伝に出場する小松島市選手団の結団式が開催され、選手、役員ら約80名が参加しました。

団長の濱田市長は「本年もさらなる躍進を目指し、選手、役員一丸となり、力を結集して頑張っていこう。」と激励しました。

役員らの激励を受け、35名の選手たちを率いる西川誉監督は「市民の期待や惜しくも選考に選ばなかった仲間の思いに応えるべく、最大限の努力を行い、必ずメダルを取って戻ってきたい。」と本大会に向けて決意を述べました。

また選手を代表し、中原友雅主将は「市民の思いを1本のたすきに込め、新春の阿波路で最高のパフォーマンスを発揮する。」と力強く宣誓しました。

第62回徳島駅伝は、1月4日(月)から6日(水)までの3日間、徳島県下一周43区間257.3kmで行われます。市民の皆さまの温かいご声援をよろしくお願いいたします。



徳島駅伝に向けて決意を述べる西川誉監督（中央奥）



選手代表宣誓をする中原友雅主将（中央前）